

最新基礎講座
BASIC COURSE

顔面の皮膚の生理学

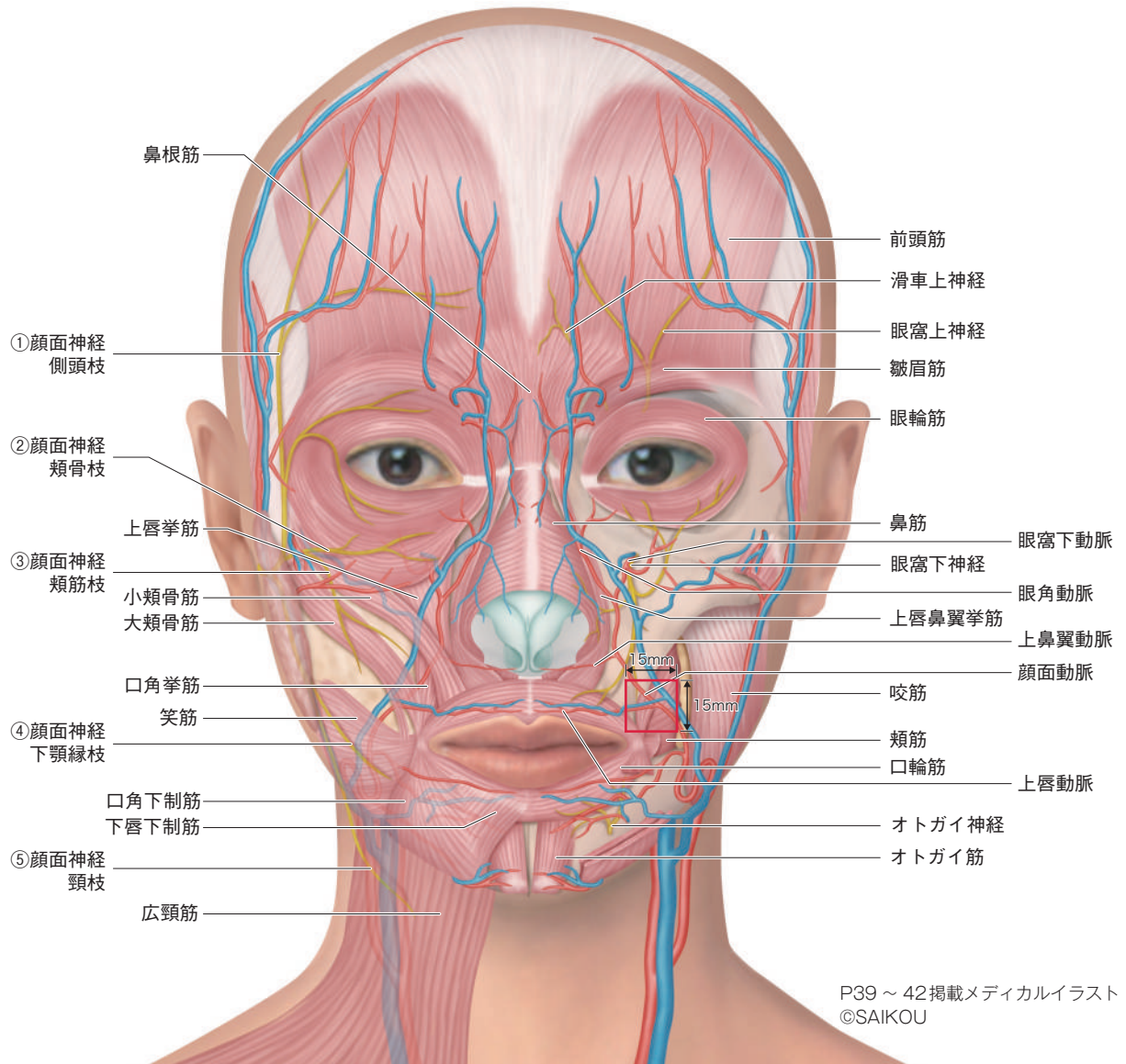
第9回
口もと
頸(デコルテ)

自由が丘クリニック理事長
古山登隆
FURUYAMA Nobutaka

自由が丘クリニック
井上 香
INOUE Kaori

頭蓋・顔面をラクビーボールのような形態と考えると、下垂は必然的に下顔面に集中し、老化による変形が起こりやすい。そのなかでも口唇周辺はダイナミックな動きをする部位であると同時に、筋肉相互の動きや筋肉の菲薄化、歯牙の脱落、下顎の萎縮によりシワやフェイスラインの崩れを引き起こしやすい部位である。また、広頸筋が緊張によって下方へ引っ張られることで、フェイスラインの崩れを増長させる。口唇部や頸部の治療に必要な筋肉や注意すべき血管、神経について解説する。

図1 顔面の筋肉、血管、神経



P39 ~ 42掲載メディカルイラスト
©SAIKOU

SAMPLE